

研究室から地方へ、日本の「凄い」を発見 途上国の未来のリーダー 岩手交流の旅

地域理解プログラム「復興からその先へ パートナーシップによるまちづくり in 東北」開催

2022年8月24日(水)～8月26日(金)、国際協力機構(JICA)は日本のまちづくりを学ぶ途上国の留学生を対象として、岩手県紫波町、釜石市の協力を得て、地域理解プログラムを実施いたします。

JICAは、毎年約1,000名の途上国の行政官を日本の大学院に受け入れ、専門分野に関する研究及び日本の近代の開発・発展の経験などについて体系的な学びの機会を提供し、母国の発展を担うリーダー人材や知日派・親日派の育成に貢献しています。

今回の地域理解プログラムでは、大学院における学びとは離れて、日本の地域の固有文化や歴史、発展経験に関する理解を高めるとともに、人々との交流を図ることを目的としています。

訪問先は、オガールプロジェクトを通じて地域活性化を進めている紫波町、震災復興や人口減少、高齢化といった課題を抱えつつも持続可能なまちづくりを推進している釜石市や、国際理解教育に取り組む岩手県立釜石高等学校、東日本大震災復興後のまちづくりや地域づくりを共に取り組んでいる民間企業、市民団体にご協力をいただきます。

今回は「地方創生・復興」というキーワードで岩手県内の各地を巡り、紫波町ではオガールの視察と紫波町職員との意見交換を行います。また、釜石市では「復興からのパートナーシップによるまちづくり」を目指すオープンシティ戦略を伺うとともに、釜石市のまちづくりパートナーである、1)地域おこし協力隊の活動現場の視察と意見交換、2)いのちをつなぐ未来館での、震災復興の取り組み・避難経路の実踏体験、3)釜石高校での授業参加と高校生との交流、4)一般社団法人根浜 MIND との震災と復興に係る体験談、5)釜石市関係者との交流など、人々との交流を通じた地域理解の深化と絆の形成を図ります。

ぜひ取材をご検討下さい。

<主な視察先>

8/24(水)	12:00-13:30 紫波町オガール視察
	15:30-17:30 釜石市役所、パソナ東北創生より取り組み紹介@釜石市役所
	17:45-18:30 仲見世商店街視察(地域おこし協力隊活動現場)
8/25(木)	9:30-12:30 いのちをつなぐ未来館、鶴住居地区視察
	14:15-16:45 釜石高校訪問(SSH事業紹介、授業視察とゼミ参加)
	17:30-18:30 宝来館女将(岩崎昭子氏)講義@宝来館
8/26(金)	9:00-11:30 根浜地区視察と防災集団移転のコミュニティ形成に係る講義

お問い合わせ JICA 社会基盤部(後藤) E-mail: Goto.Ayumi2@jica.go.jp TEL: 080-7106-6224

※取材に関するお問い合わせは2022年8月19日(金)までとさせていただきます。